

「奈良宇陀魅惑体験フェスティバル」が9月14日開催

9月14日、宇陀郡六町村の歴史や文化、自然、産業の魅力を再発見してもらう「奈良宇陀魅惑体験フェスティバル」（同実行委員会主催）のオープニングイベントが大宇陀町西山の町健民グラウンドで開催、近畿各地から約3,000人の観客が訪れた。

同フェスティバルは、9月14日～11月23日まで、大宇陀町、榛原町、曾爾村、御杖村、菟田野町、室生村の各地で地域の特色を生かした数々の体験イベントが展開されることになっている。近畿各地にパンフレットを配布、当日は朝日放送ラジオの中継もあり、各地からの集客を企図している。

グラウンドのステージで行われたオープニングイベントでは、大宇陀町の邦楽演奏、曾爾村の獅子舞の奉舞、榛原町の和太鼓の演奏など各地の自慢の伝統芸能を披露。宇陀の「ごっつおブース」では、室生村のよもぎ入り五平餅、御杖村のあまごの塩焼きなどの販売をしていた。また「体験ブース」では宇陀の達人による竹細工、切り絵、毛皮キーホルダーなどの手作り教室を開催して、人気を集めていた。



かどふさ
門 僕 神社の「曾爾の獅子舞の奉舞」